

研究課題名 先天性食道裂孔ヘルニア術後再発症例 3 例の検討に関する情報公開

1 . 研究の対象

2017 年 11 月 ~ 2021 年 4 月の期間に、当院小児外科で食道裂孔ヘルニアに対し手術を施行され、術後再発のため再手術を受けた方

2 . 研究目的・方法・研究期間

研究目的

小児食道裂孔ヘルニアは稀であり、その再発についての報告は少ないのが現状です。全胃滑脱型の食道裂孔ヘルニアは非常に稀であり、本疾患の患者様に対して手術を行ったものの再発を来してしまつたために再手術を必要とした患者様についての検討することで、今後の治療方針につなげていくことを目的としています。

研究の方法

当施設で対象となった患者様のカルテから、患者様の概要、手術項目、術後経過、再発リスクなどについて評価します。

研究期間

実施承認日 ~ 2021 年 12 月 31 日

3 . 研究に用いる試料・情報の種類

当院における診療録を使用します。性別、手術時日齢、食道裂孔ヘルニアの術前及び再発時の状況、手術の詳細、術後再発時の症状などが含まれます。

4 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院小児がん治療センター / 病院講師 住田 亙

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

Tel: 052-744-2959 Fax: 052-744-2980